

図書館便り



発行：福島県立田島高等学校 図書委員会

雪が降り、寒さも厳しくなってきました。

家で過ごす日も増える中、過ごし方の一つに読書などいかがでしょうか。



図書館からのお知らせ



■冬休み中も図書館開館します

- ・12月21日、22日、26日、27日
平成29年1月4日、5日、6日は
通常通り（開館時間：8：30-16：30）
図書館は開館しています。
勉強や読書などに是非ご利用ください。

■長期貸出実施中です

- ・貸出冊数：5冊以内
- ・返却期限：平成29年1月11日（水）
※冬休み明けまで。

■図書館の雑誌無料配布します

12月15日（木）～20日（火）にかけて図書館にて
購読している雑誌のバックナンバーを希望者に無料配布致します。
配布雑誌は以下の通りです。

- ・ダ・ヴィンチ
- ・non・no（ノンノ）
- ・Men's NONNO（メンズノンノ）

保存期限が切れた雑誌なので、約1年前のものです。

雑誌配布の順番は先着順になります。

組み合わせは自由で一人5冊までです。

興味がある方は是非図書館へ足を運んでみてください。



新着図書のご案内



書名	著者名	請求番号
Fukushima four seasons：南会津に見る、もうひとつの福島	鈴木 一利	097/スズ
ミッキーマウス決断する言葉：ニーチェの強く生きる方法	ニーチェ	159.8/ニ
スタンフォードの心理学講義人生がうまくいくシンプルなルール	ケリー・マクゴニガル	159/マ
問題は英国ではない、EUなのだ：21世紀の新・国家論	エマニュエル・トッド	304/ト
グローバリズム以後：アメリカ帝国の失墜と日本の運命	エマニュエル・トッド	304/ト
ルポ貧困女子	飯島 裕子	367.21/イ
相模原事件とヘイトクライム	保坂 展人	369.27/ホサ
君とまた、あの場所へ：シリア難民の明日	安田 菜津紀	369.38/ヤス
兵器と大学：なぜ軍事研究をしてはならないか	池内 了 他	377.21/イケ
「環境を守る」とはどういうことか：環境思想入門	尾関 周二 他	519/オ
アメリカは日本の原子力政策をどうみているか	鈴木 達治郎 他	539.091/ス
素敵に飾る暮らしの押し花	豊増 康生 編	594.8/トヨ
山のきもち：森林業が「ほっとする社会」をつくる	山本 悟	652.1/ヤマ
ぐりとぐらのおきゃくさま	中川 李枝子 他	726.6/ナカ
こねことひよこ	黒木 康隆 他	748/クロ
七五調 源氏物語 5	中村 博	913.369/ナカ/5
天と地の守り人 第3部	上橋 菜穂子	913.6/ウエ/3
十二人の死にたい子どもたち	沖方 丁	913.6/ウブ
四月になれば彼女は	川村 元気	913.6/カ
ニーチェが京都にやってきて17歳の私に哲学のこと教えてくれた。	原田 まりる	913.6/ハラ
夜行	森見 登美彦	913.6/モリ
ハリー・ポッターと呪いの子 第1部・第2部	JKローリング 他	932/ロー
神様のケーキを頬ばるまで	彩瀬 まる	B913.6/アヤ



引き続きリクエスト図書も募集中ですので、
素敵な本の紹介お待ちしております。





冬休みのお供に
いかがですか？



図書委員オススメの本

★『神様の御用人』(メディアワークス文庫)

浅葉 なつ / 著

「神様にだって願いはある！」



ある日突然、御用人を命じられた主人公の良彦と狐神が神様の悩みを解決していく物語です。神様たちとのやり取りは、笑いあり感動ありで読んでいてあきません。中には神様について

説明された「神様講座」があり、勉強になります。私は、神様にしてくれることに感謝して生きていかなければならないと改めさせてくれる一冊だと感じました。日本の神様が好きな方は楽しめる物語なのでぜひ読んでみてください。

★『ようこそ地球さん』(新潮文庫)

星 新一 / 著



文明の亀裂をこじあけて宇宙時代をのぞいてみたら、人口冬眠の流行で地上は静まりかえり、自殺は信仰にまで昇華し、宇宙植民地では大暴動が惹起している……。

人類の未来に待ちぶせる悲喜劇を、皮肉げに笑い、人間の弱さに目を潤ませながら、奇想天外、卓抜なアイデアをとりまぜて描いたショートショート42編を収録。星新一のショートストーリー集は他にもたくさん置いてありますので、ぜひ読んでみてください。

★がついている本は
図書館に所蔵されています。

★『星やどりの声』

朝井 リョウ / 著



星になったお父さんが残してくれたもの—喫茶店、ビーフシチュー、星型の天窗、絆、葛藤。そして奇跡。一家の大黒柱の父が、四年前に他界した早坂家。

それ以来、純喫茶「星やどり」は母が切り盛りしている。父が残してくれた「星やどり」や自慢のビーフシチュー、夜空から星が降り注ぐ星型の天窗。そして、ブランコ型の席には、常連客のブラウンおじいちゃんが今日も静かに座っている。6人の兄弟の様々な悩みや葛藤がそれぞれの視点から書かれており、一見、穏やかな日々が流れているようだが—！？

★『氷菓』(角川文庫)

米澤 穂信 / 著



私がおすすめる本は「氷菓」という本です。この本の主人公は何事にも積極的に関わろうとしない“省エネ”少年・折木奉太郎がなりゆきで入部した古典部の部長である千反田えると出会って、日常に潜む不思議な謎を解き明かしていくミステリー小説です。

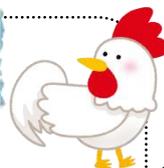
主人公としては少しぱっとしないような設定の折木奉太郎がどんな風に謎を解き明かすのか、一度読みだすと全部読みたくなるようなとてもおもしろい本なので、ぜひ一度読んでみてください。

図書館利用状況(10月・11月分)

■貸出冊数：62冊

1年生：4冊 2年生：4冊 3年生：32冊 教職員：22冊

■入館者数：461名 10月：159名 11月：302名



鳴山祭で図書館へお越しくださった皆さん、
ありがとうございました。
鳴山祭での準備の影響により図書館が閉館が多く、
10月・11月は貸出冊数が大分少なくなってしまい、残念です。
現在長期貸出をやっていますので、
この機会に図書館へ足を運んでみてください！